

令和4年度 医療・介護関係者の研修 実施報告

令和4年度研修目的:

<1>多職種連携の課題や現状を把握し、在宅療養に関わる知識を深め、実務に活かすきっかけとなる。

また、地域の専門職の顔の見える関係づくりの場となる。

<2>現場で従事する専門職同士で共有・検討することで、医療介護の現場で直面した課題をチーム



	開催日時・会場	参加者	テーマ	研修内容
第1回目	令和4年11月9日(水) 19:30~20:30 WEB開催	申込者数:94名 WEB窓数:77窓	認知症の早期発見と医療へのつながり ~多摩市認知症初期集中支援チームの利用例より~	1.多摩市認知症初期集中支援チームの目的、目指すもの、依頼から介入、引継ぎまでの流れについて説明。 2多摩市認知症初期集中支援チームを実際に利用した、事例の紹介と、事例を通して具体的な流れや動きを説明。
第2回目	令和5年2月1日(水) 19:30~20:30 ハイブリット開催 (WEB+対面)	参加者:47名 対面:10名 WEB:37名	認知症の方への対応、どんなことに困っていますか? ~事例を通したグループディスカッション~	実際の事例を元に、認知機能が低下した高齢者への意思決定支援について、多職種でのグループディスカッションを実施。各職種が、実際にどのように意思決定支援を行っているかの情報共有を行うとともに、各職種が抱えている「意思決定支援」への困難・課題を抽出。



